世界に希望を生み出そう
RI会長　ゴードン R.マッキナリー

2023-2024年
Rotary District 2640 Japan
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
海南東ロータリークラブ
会長　岸　友子　　幹事　角谷 太基　　SAA 田中　祥秀

第 2166 回例会

2024 年 1 月 22 日(月)

海南商工会議所4F　12:30～
ゲスト卓話　さくら福祉会 フードバンクについて

1.開会点鐘
2.ロータリーソング　　「それでこそロータリー」
3.ゲスト紹介　　社会福祉法人 さくら福祉会
社会福祉部門　岩橋 美和 様

4.出席報告
会員総数 39 名　出席者数 24 名
出席義務規定適用免除会員　2 名
出席率 64.86%　前回修正出席率 72.97%

4.会長スピーチ　　副会長　田岡　郁敏 君

みなさん、こんにちは。　岸会長が所用のため、欠席されますので代わってスピーチさせていただきます。なお、岸会長に原稿を預かっていますので代読させていただきます。

本日は、ゲストにさくら福祉会の岩橋様をお迎えしております。社会奉仕委員会からのご案内により、先週•今週で会員の皆様に「さくら福祉会フードバンク代行」への支援の品物を持って来ていただいております。岩橋様、ゲスト卓話よろしくお願いいたします。

次に、1月度理事会報告をさせていただきます。

①令和 6 年能登半島地震 2640 地区要請支援物資の状況について、 地区の対応を確認しながら地区からの指示を待つ。
②田辺東創立 50 周年記念ゴルフ大会参加申し込み状況について
③2 月 22 日～23 日、宮崎中央 RC クラブ訪問について詳細確認
④「収支中間報告 12月末」について
前期収支決算が確定しましたが、諸事情の値上げにより経費予算を圧迫していますので、後期は引き締めていきたいと思います。
⑤2 月 25 日(日)3 クラブ合同清掃について
1月 18 日、海南 3 クラブ会長幹事会にて、詳細が決まりましたので、ご案内を本日配布させていただいております。多数ご参加よろしくお願いいたします。

5.幹事報告　　幹事　角谷 太基 君

○例会臨時変更のお知らせ
有田南 RC　2月6日(火)→　6日(火)
18:30～　橘家　新年家族例会
和歌山南 RC　2月9日(金)12:30～(会場変更)
和歌山城ホール4F 大会議室
16日(金)→　14日(水)
18:30～　アバローム紀の国
(和歌山東南 RC との合同例会)

○休会のお知らせ
和歌山南 RC　2月2日(金)
田辺 RC　2月8日(木)15日(木)

6.ゲスト卓話

社会福祉法人 さくら福祉会
社会福祉部門　岩橋 美和 様

この度は、この様な機会を設けて頂き有難う御座います。私は、さくら福祉会ハートリンクさくら岩橋美和と申します。

さくら福祉会は、理事長 西願 誠二の元で、令和 5 年 9 月より、フードバンクを立上げました。 その切欠ついて、お話させて頂きます。

先進国と呼ばれる日本ですが、そんな日本でも所得格差は徐々に広がっています。相対的貧困という言葉をご存知でしょうか？ 国や地域の中で大多数より貧しい状態を指します。OECD によると世帯の所得がその国の辱価化処分所得の中央値の半分矽満たない人の割合と定義されています。日本では 15.7%が相当し 6 人に一人の割合となります。母子家庭をめぐる状況は特に厳しく半数が箱翁翻貧困状態にあります。

少子高齢化が進む日本において、未来をになうのは子供達です。子供の健やかな成長が日本の成長に繋がり、未来の日本ひいては我々の老後を支えてくれる原動力となるはずです。社会の健全な発展の為には、機会の均等や平等性が必要で、努力が報われる社会である必要があります。

1月は「職業奉仕月間」

事務所　〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801　FAX:073-483-2266
http://www.kainaneast-rc.jp　E-mail：info@kainaneast-rc.jp

子供の貧困問題は、貧困家庭で育った子供達は自己肯定感が乏しく、再び貧困に陥るという 事にあると考えられます。家庭の経済格差と子供の能力（認知能力「認知能力や非認知能力」）についての関係性は様々な調査が行われています。

認知能力とは、子供で言うと簡単には学力、学校の成績と言う事です。非認知能力とは、自尊心や自己肯定感、自制心や共感力、社会性や問題解決力を指していま貧困世帯とそうでない世帯の間には、義務教育が始まる６歳の時点で既に非認知能力に大きな差が存在していると報告されています。

非認知能力の差は継続することに加え、非認知能力は勉強を続けるという行為に大きく関係し小学校４ 年生頃には、学力差が號船七し、学年を経るとともに低学力層からの逆転の可能性は低下して行きます。適切な支援を受けずに成長した子供が、低学力や低所得に苦しみ続ける事で、結果として社会がその代償を負うと言う事になります。

我々は、まず、低所得世帯やゆとりのない世帯を中心に、主に子供と親の支援をしたいと考え「ハートリンクさくら」を立上げました。

ひとり親世帯等の生活を支える為のフードバンクを通じた食料支援や、できれば学習支援を行って行きたいと計画しています。

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の寄付を受け、食べ物に困っている方や、緊急的に食品が必要な方などへ無償で食品の提供をいたします。

ぜひ皆様には、フードバンクへの食品のご寄付をお願いいたします。

当会の会員の皆さんから、フードバンクへ、多くの食品等を寄贈しました。

The Rotary Foundation　世界でよいことをしよう

次回例会
休　　会　2024 年 1 月 29(月)
第 2167 回　2024 年 2 月 5(月)
海南商工会議所4F 19:00～
お誕生日、結婚記念日のお祝い

ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君	さくら福祉会、岩橋様本日の卓話ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
角谷 太基 君	〃
田中 祥秀 君	〃
楠部 均 君	フードバンクを支持しします。
中村 俊之 君	フードバンクの卓話、御礼。

Rotary NEWS

2024-25 年度「ロータリーのマジック」

ロータリーのマジック

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25 年度会長テーマ「ロータリーのマジック」（The Magic of Rotary）を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

１月 8 日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーに「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」と語りました。

マクマーリー・ロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」